

●SSHマレーシア海外研修

私たちは8月15日から1週間マレーシアへ海外研修に行きました。1日目と2日目は首都であるクアラルンプールへ、3日目から最終日まではボルネオ島に行きました。クアラルンプールでは「環境と開発どちらが大切か」という題でプレゼンテーションをし、サティアワンサ校の生徒と意見交換をしました。日本では環境を守るほうが大切だと考える人が多いのに対し、マレーシアではプランテーションのほうが大切であると考え人が多いということがわかりました。

ボルネオ島では村にホームステイし、伝統工芸体験、吹き矢体験、ゴム採取体験をしました。伝統工芸品は竹からカバンやコースターなどを作るというもので、ひとつひとつの作業がとても難しく、簡単には作れませんでした。けれど、村の人がとても親切に教えてくれたので、楽しく作ることができました。

吹き矢体験は実際に狩りで使っている道具を使いました。矢の先端はもろく作られており、動物に刺さると自然に折れる作りになっています。毒はコブラの毒とあるきまった木の樹液から作られています。昔は村同士の戦争で使われていましたが、今では狩りでしか使わなくなりました。また、吹き矢を吹くときは思いっきり吹かなくてはならず初めは全然飛びませんでした。けれど、何回もするうちにコツをつかみ、最終的には的に当てることができました。

ゴム採取体験では、ゴムの木の皮を専用の道具を使ってはぎ、器の中に樹液をためました。木の皮をはぐのはコツがいるため、全然関係のないところをはいでしまったり、はげていなかったりといろいろなアクシデントがありながらも、なんとか集めることができました。その集めた樹液に化学物質を入れゴム状にして保存がきくようにします。それを業者に売りますが、1kg5リンギット（約150円）でしか売れません。日本ではありえない値段です。このわずかな収入で生活をおくっている現地の人には本当にすごいなと思いました。私はこの生活を1日しか経験していないのでそれほどではありませんでしたが、この生活をずっと続けていくのは自分には無理かなと思いました。

私にとっては初めて行く海外だったので、英語が通じるのか、食べ物はおいしいのかなど、不安なことがたくさんありました。けれど、自分から積極的に挑戦していくことによってその不安が楽しさへと変わっていきました。（1年 松本葉月）

